

館長のおはなし

岩崎城にかかわる岩崎の言い伝え(2)

岩崎城の落城のとき、城兵238名(「長久手合戦記」「日進町誌資料編1」)は全員討死をしましたが、その妻子は悲劇のときをどう過ごしたのでしょうか。「長久手合戦記」では、城主氏次や家老の妻子は氏次が徳川方に味方した際、人質として清洲城にさしだされており、その他の足手まといも戦い前日の8日昼頃には敵軍が三河に攻め入るとの風聞(ふうぶん)によって、近在に預けられたと書かれています。また、「丹羽家軍功録」(「長久手町史資料編6」)では、老人女子どもは岩崎城の東北にある丹羽家菩提寺(ぼだいじ)の妙仙寺に逃れたといい、当時の同寺住職は城を訪れ、戦いを前にした将兵に梅干しを与えたと記しています。妙仙寺住職さんのお話し(要旨)では、昭和15,6年頃まで、方丈(住職の居間)から山門の近くまで抜け穴があったそうです。その先は岩崎城まで続いていたという言い伝えもあったそうですが、今となってははっきりしないとのこと。

お断り:前号のお話しは「日進町誌本文編」「同資料編1」「岩崎誌」「岩崎城跡発掘調査報告書」「同付図5」や岩崎町古老の伝聞話などを参考にして記述しました。

収蔵品紹介



『寛政大名家譜』上下巻
江戸時代中期
播磨三草(はりまみくさ)藩・丹羽家の系譜・事績を記した文書です。上巻には「系譜」など、下巻には「軍功録」などが記されています。同じ頃江戸幕府によって編纂された「寛政重修譜家譜」の資料として提出されたものと考えられています。現在記念館にて特別公開中です。



昨年植えたあじさいの苗がこんなに大きくなりました。



No.10
2010/7/1

イベント案内

2010年8月7日(土)～ 9月26日(日) 企画展「郷土玩具 一祈りと遊びー」	全国各地の郷土玩具と昭和の遊びを紹介します。実際に遊べるコーナーもありますよ。子どもの頃に帰って、一緒にあそびませんか？	
2010年8月7日(土)～ 9月26日(日) 「郷土玩具ぬり絵展」 小学生以下限定	企画展にあわせて、おもちゃやお城などのぬり絵をご用意。好きな色にぬって岩崎城に展示しよう！参加者には記念品をプレゼント。	
2010年5月2日(土)～ 9月26日(日) 「にっしん歴史はっけん スタンプ★ラリー」	岩崎城と香久山古窯のスタンプを集めて、記念品をゲットしよう！香久山古窯は5月～9月の第1・3日曜午前中に公開します。	くわしくは岩崎城で聞いてね。
2010年 7月11日(日)25日(日) 8月8日(日)22日(日) 9月12日(日)26日(日) 「紙で作る手作り甲冑 展示着用体験会」	厚紙で作った甲冑を展示します。大人から子どもまで着用できる甲冑も用意しますので、お城をバックに記念写真を撮りましょう！	

イベント参加はすべて無料です。ぜひ岩崎城へおこしてください。

岩崎城まめ知識

◎天目茶碗

岩崎城の出土遺物の中には様々なものがありますが、その中に天目(てんもく)茶碗の破片があります。

天目茶碗とは天目釉と呼ばれる鉄釉(てつゆう:鉄分が多く含まれた釉薬)が掛けられた茶碗のことで、鎌倉時代に禅僧が修行のために中国浙江省(せつこうしょう)の天目山に行き、帰国時に茶碗を持ち帰ったことからそのような形をした茶碗が天目茶碗と呼ばれるようになりました。

始めは中国から輸入されていましたが、茶を飲む習慣が広まるにつれ、瀬戸・美濃において茶碗が作られるようになりました。また茶道は戦国武将の嗜(たしな)みの一つにもなっていました。岩崎城城主であった丹羽氏次も茶を嗜んだことでしょう。

岩崎城だより

発行日 2010年7月1日(年4回発行)
編集・発行 岩崎城歴史記念館
〒470-0131
日進市岩崎町市場67番地
Tel 0561-73-8825
Fax 0561-74-0046
HP <http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakijo>



かんすけ君